

赤字工女 二円五十二銭±一円五〇銭

赤字〇の工女 三円五十銭±二円〇三銭

であった。

五、中途退場工女の精算賃銀をみると、一般的に前借金の多寡と賃銀の獲得額に左右され、業負担額は大きな要因になつていない傾向を見出した。

(防衛医科大学校公衆衛生学)

大正期の諏訪地方における

製糸工場の労働環境について

清水 勝 嘉

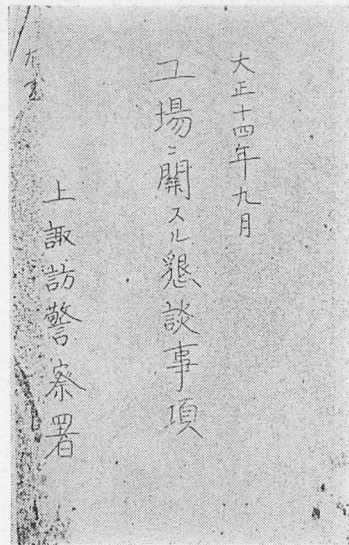
資料は長野県岡谷市立岡谷蚕糸博物館に所蔵されている「大正十四年九月 工場ニ関スル懇談事項 上諏訪警察署」である。

本資料は全五十七ページの孔版印刷である。内容はいくつかにわかれているが、最初は

- 一、工場保安施設ニ関スル件
- 二、工場寄宿舎ノ設備ニ関スル件
- 三、労働者募集取締令施行ニ関スル件
- 四、扶助及職工負傷疾病月報ノ提出ニ関スル件
- 五、職工就業時間休憩時間及休日ノ変更ニ関スル件
- 六、労資相談所設置ニ関スル件
- 七、衛生思想ノ涵養ニ関スル件
- 八、伝染病予防ニ関スル件

九、結核予防ニ関スル件

十、ワクチン注射ニ関スル件
であつた。



次に「工場施設経営ニ関スル注意事項」がとりあげられており、「工場法規ニ基ク遵守事項」は十一項目、「工場並付属建築物ノ設備奨励ニ関スル事項」が三十五項目、「其他ノ事項」を七項目に分け、それぞれについて詳細に述べられている。この中味は当時の労働条件の基本的なものでありであつた。

「県下製糸工場ニ於ケル諸般ノ施設状況」には長野県下のことを左記の事項に分け説明を加えている。

一、本県ニ於ケル製糸工場概況

二、工場設備ニ関スル調査

三、胃腸病調（製糸工場）

胃腸病調の一部をみると「職工ノ健康診断ノ際発見セラレタル病者中トラホームヲ除キテハ消化器病最高位ニアリ斯克胃腸疾患者多キハ作業場ノ温度並ニ湿度作業状態寄宿舎ノ生活状態食料ノ粗悪等ニ至大ノ関係アルヲ以テ之レカ子防ハ就業時間ノ短縮食後休憩時間ノ延長寄宿ノ改善栄養食料ノ給与軽快ナル運動ノ奨励煮糲分業ノ普及等ニ俟ツ外ナント思惟ス」とあり、生糸職事情に記録されていた製糸工場の状態と変らないものであつた。

労資相談所は「労資ノ協調ヲ図リ相互ノ福利ヲ増進スルヲ以テ目的」としたもので、「警察部工場課内ニ其ノ本部ヲ置キ警察官署ノ内ニ其ノ支部ヲ設ク」であつた。

工場関係書類（健康診断書、特別教育開始届、同学年末調査表、扶助月報、賃金毎月調査、労働者募集年報）の提出期限、募集関係書類の処理についての一覧はその裏づけとなる法令をあげていた。

本資料の最後にあげてある参考書は、まず世界各国の労

働時間の法規一覧表があり、次に諏訪地方の工場の生活の改善策を示してある。この改善策は項目のみを記す。

一、寄宿舎一棟ノ適當ナル大サ及各棟ニ必要ナル諸設備
及附属室

二、寢室ノ蚊張釣ノ設備

三、結髪室

四、洗面所

五、食卓

六、浴場

七、洗濯所

八、便所ノ構造

これらの項目は図入りで説明が加えられていた。

以上、とりあげた警察署から製糸経営者への要望事項をみると、工場法の施行があつたにもかかわらず、きびしい労働条件が製糸工女をとりまいていたことを物語っている。

(防衛医科大学校公衆衛生学)

水銀中毒の歴史

三 浦 豊 彦

水銀中毒といえ、無機水銀と有機水銀があるが、今回は無機水銀のみにふれる。

古代金属といわれるように無機水銀による中毒は古くから知られていた。ヨーロッパでは水銀鉱山労働者の水銀中毒が一五世紀に発見されているが、わが国の伊勢の射和などの水銀鉱山での中毒の資料はない。

奈良の大仏の造立にあつた水銀アマルガムを用いた塗金では中毒が発生したであろうことが想像されるが、記録は残っていない。大仏の鑄造に二年、塗金に五年をかけたことは塗金が難事業であつたことを示している。杉山二郎は「毒の文化史」のなかで金メッキの技術は中国から導入したもので、水銀の毒性は知っていて、塗金の際には天井をぬいて水銀を充分放散した上で、次の仕事にかかったので、五年もかかったといっている。